

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

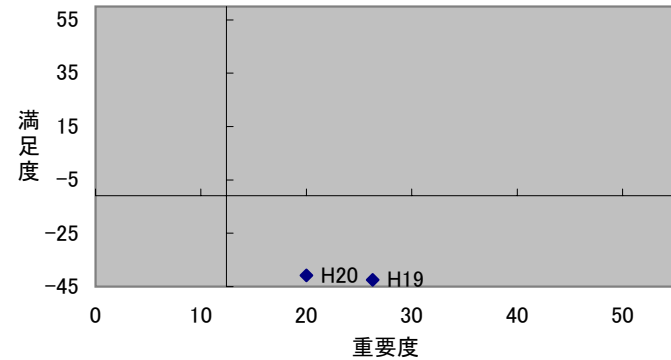
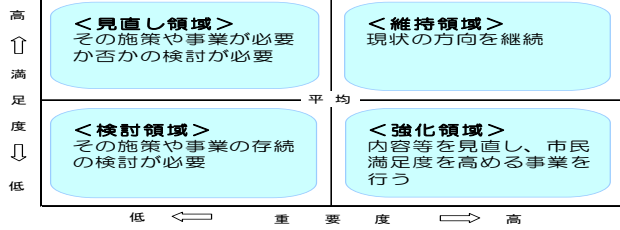
施策名 (小項目)	商業	コード	04-02-02	作成者	職名	商工観光課長
				氏名		横山雅一
				電話		64-1832 内線 271

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市内事業者の活力を養うことは、地域住民が集い活力ある町となる。また、東備地域の拠点都市としての発展を図り、市民生活を豊かにしていくことを目的とする。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	顧客ニーズの多様化や後継者不足、さらには郊外型大型店の進出による商業域の分散や競争の激化が大きな要因と考えられます。特に、消費者の自家用車利用が定着したため、駐車場不足とアクセス道路の円滑性に欠ける従来型の商店街は、来客頻度が低下しており、これが商店街組織活動の低下につながっています。こうしたことから、地域の商店街は衰退が著しく、閉店や空き店舗が目立ち地域社会の形成にも悪影響を及ぼしています。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 魅力的な商店街の創出 商店の体質の強化 	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	26.3	20.0	
満足度(%)	-42.5	-40.8	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市の中心市街地である片上商店街については、アルファびゼンの閉鎖以来衰退が著しく、閉店や空き店舗が目立つ状態になっている。こうしたことから、商業施設の充実を求める意見が非常に多く、市内全域においても、商業の活性化を求める声が多い。市民皆様に直結した問題であることから、関係機関と連携を図りながら、改善に努めたい。
---------------------	---

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 地域振興活性化による集客数	万人	180	180	180	190	200	200		各イベントの集客数の計目標値を変更した
	実績	150	169	187					
	達成率	83.3	93.9	103.9					
2 経営相談回数(商店の体質強化)	回	6,000	6,000	6,000	6,000	7,000	7,000		商工会議所、商工会で受けた経営相談回数
	実績	5,670	6,213	5,376					
	達成率	94.5	103.6	89.6					
3 事業所数の推移	社	800	800	800	800	800	800		商業統計調査の商店数
	実績	747	727	694					
	達成率	93.4	90.9	86.8					
4	目標								
	実績								
	達成率								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算	
				H17			H18			H19				H20
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数		
1 商業振興事業	C	岡山県都市商業ゼミナール負担金	単市補助給付	86			93						0	
		岡山県経済交流協会会費	単市補助給付	50			50						50	
		商業振興対策補助事業	単市補助給付	0			0						164	
		シーファンタジーイルミネーション業務	単市補助給付	861	5,914	0.50	788	5,257	0.32	4,305	372	0.00	0	
		ぼんぼり取付業務	単市補助給付	420			420			588	75	0.01	0	
		全国菓子博覧会補助金	単市補助給付	0			0			399	100	0.01	0	
2 地域振興活性化事業	D	備前まつり事業	単市補助給付	3,500			3,021			3,000	3,933	0.52	2,100	
		ひなせ港祭り事業	単市補助給付	3,500			3,018			3,000	2,094	0.31	2,100	
		まほろばウォーク事業	単市補助給付	2,098			2,141			1,000	1,113	0.18	700	
		海上綱引き大会事業	単市補助給付	699			549			0	172	0.03	0	
		カップリングパーティー事業	その他単市	256			334						0	
		備前鯖祭り補助事業	単市補助給付	4,400			1,300			1,000	75	0.01	400	
		サマーフェスティバル補助事業	単市補助給付	1,215			1,215			1,000	0	0.00	700	
		地域まつり補助事業	単市補助給付	2,285			2,208			750	243	0.03	567	
		備前商工会議所補助事業	単市補助給付	11,858			11,590			11,000	186	0.02	8,800	
		備前焼陶友会補助事業	単市補助給付	405			405						0	
3 商業団体支援事業	C	備前東商工会補助事業	単市補助給付	20,731	2,491	0.30	19,200	2,093	0.22	16,000	93	0.01	12,800	
		備前商工会館管理運営事業	単市補助給付	0			0			0	0	0.00	0	
		商工名鑑発行事業補助金	単市補助給付	0			0			0	0	0.00	500	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)	
				52,364	17,396	1.71	46,332	15,429	1.63	42,092	8,456	1.17	28,911	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
NPOかたかみまちづくり	旧アルファビゼンを活用しての再生事業	片上商店街の活性化
商工観光課	商工会議所、商工会等関係団体との連携を図り 諸施策を検討する。 資金就労支援、設立支援	関係団体との情報交換、協力体制の確立 雇用の拡大、起業の進出

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	2	イベントに対する目標達成はほぼ達成可能と考える。経営相談回数は、事業所数の減少、経済の動向に伴い変動するものの、ほぼ達成すると考える。	2	特に片上商店街は衰退しており、旧アルファビゼン再生に期待しているが、達成は難しい。
2 事業構成の適当性	3	イベントに対する事業構成は適当と考える。しかし、商業に対する施策が薄いため、見直しが必要と考える。	3	団体、イベントの補助事業が多いが、おおむね妥当。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	2	イベントによる集客数は達成している。しかし、経営相談回数並びに事業所数の減少には、歯止めの対策が必要と考える。	2	イベントの集客数は上回ったが、空き店舗対策は引き続き続ける必要がある。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	商工会議所、商工会との連携を密に行うこと。 空き店舗事業等補助事業の活用を図ること。 イベント等統一に向けて各種団体等に予告すること。 市内各地区の商店街は、賑わいを失い閑散としている。その現状把握と今後について商工会議所、商工会と協議すること。			
二次評価者コメント 役職 産業部長 氏名 玉垣 和志	◇まつり関係については、整理統合を視野に入れ、関係団体間での協議の場を設ける必要がある。 ◇商工会議所、商工会との連携を図りながら、空き店舗を活用した商店街の活性化、大型ショッピング店の誘致などに取り組むことが必要である。			基本施策への貢献度 3中立